

## 令和元年度 第 1 回香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会

### ○ 総合戦略の取り組み状況

令和元年8月9日開催



# 香南市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略の取り組み

総合戦略の策定とその推進にあたっては、香南市において、優先的に取り組むべき課題、及び、国の4つの目標及び政策5原則の趣旨を充分にふまえ、実効性の高い戦略策定を行うとともに、着実かつ確実に推進するための体制を整えながら、その実現に向けて、4つを総合戦略の基本目標を掲げ、まち・ひと・しごとの創生を図る好循環を確立していくこととした。

## 総合戦略の基本目標の達成状況と課題

### ①魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

#### 【成果と課題】

**(農業) 図1**  
新規農業者について、平成27・28年度は目標達成できていたのですが、28年度末に目標値の上方修正を行ったが、翌29年度以降は、目標達成には至っていない。(高知県中央東農業振興センター調べ)  
就農支援や補助制度は充実しているが、相談の中で今後の予定を立てられていない方も多く、就農まで至らないケースが多い。

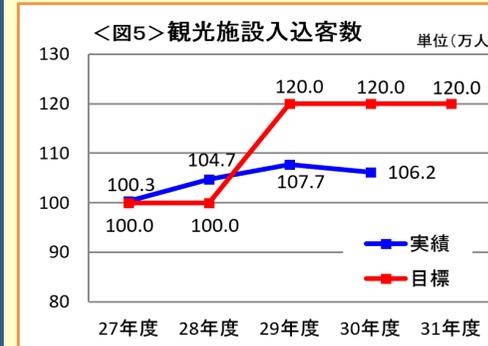
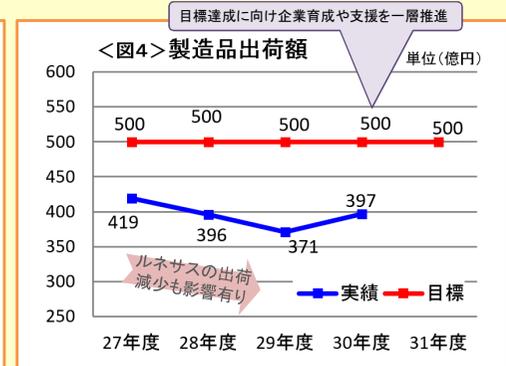
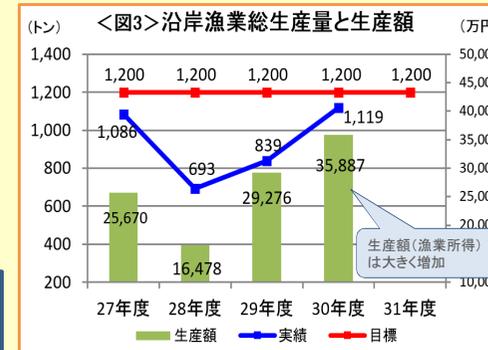
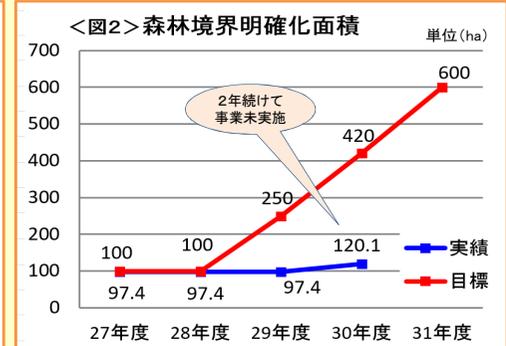
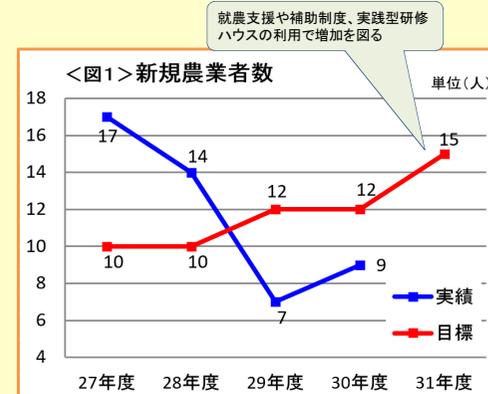
**(林業) 図2**  
森林境界明確化事業(団地化及び境界明確化)は、事業主体の香美森林組合や高知県等関係機関との連絡調整において事業未実施の年度が続いていた。H30年度には事業再開に至ったが、目標達成は困難となっている。林業の振興を図るために、基盤整備や森林資源の保全は図っているが、林業経営体<sup>\*1</sup>(29経営体)や就業者数<sup>\*2</sup>(19人)自体の減少や森林所有者の特定が困難となっている。  
(\*1\_2015年農林業セサス) (\*2\_H28年3月県森づくり推進課)

**(水産業) 図3**  
沿岸漁業総生産量は平成28年度が693トンと例年になく不漁であったが、翌年度からは漁業総生産量・生産額(漁業所得)ともに上昇し、H30年度は目標値(1,200トン)に大きく近づいている。漁業就業者の高齢化から新規漁業就業者の確保が課題となっており、確保には努めているが、市内主要漁業形態は一人での就業は難しく、就業には至っていない。  
(H29年度までは県漁協3支所の水揚げデータを実績としていたが、H30年度からは市内民間企業の生産量を追加。県漁協3支所のみはH30年度は1,058トン)

**(商工業) 図4**  
製造品出荷額は、基準年(H26年度)が407億円(工業統計調査)であり、目標を500億円と設定していたが、目標達成は困難となっている。H29年度(H28年実績)はルネサスの出荷減少も影響していると思われる371億円と減少していたが、香南工業団地での新規企業の操業開始もあり、H30年度は397億円に増加した。

**(観光) 図5**  
観光施設入込客数は、H27・28年度は目標達成しており、「志国高知 幕末維新博(H29.3.4開催)」にあわせ、平成29年2月に100万人から上方修正を行った。高い目標で取り組んでいるが、目標達成には至っていない。H30年度においては、悪天候や豪雨災害等もあり、繁忙期の集客が減少したことから、昨年度実績を下回った。

- 最終年に向けて**
- (農) 引き続き、新規就農者が増えるよう、就農支援や補助制度の拡充と就農に向けたイベントに参加し、周知を行う。また、昨年度整備した実践型研修ハウスの利用が就農により近づくよう管理運営に努める。
  - (林) 森林境界明確化事業の事業主体となる香美森林組合と連携調整を図り、平成30年度に「香我美町撫川地区」で事業を再開した。事業がよりスムーズに進むよう、事業の同意者を増やすことと、山の所有者に「山の持ち主」であることを意識してもらうようPRやとりくみを強化していく。また、森林環境税(環境譲与税)の活用を検討し、上記の課題解決と適切な森林管理が図れる仕組みをつくる。
  - (水) 沿岸漁業の総生産量は好漁、不漁の関係も大きく影響するものである。生産額(漁業所得)を延ばすために、市内水産物の認知度向上に向けた取り組みや加工商品に付加価値をつける取り組みを進める。
  - (商工) ルネサス高知工場の事業撤退の影響は大きいですが、目標値を下方修正するのではなく、目標値を達成するよう香南工業団地の誘致企業と既存企業の生産性向上につながる支援および川谷工業団地への企業誘致に層取り組む。また、事務系企業誘致を加速するべく空き店舗の物件調査・提供にに取り組むことと、(株)インとの連携により企業立地につながる取り組みを進める。
  - (観) 既存のイベントと合わせて、天候に影響されない集客確保のイベントの取り組み強化を図り、新規顧客の開拓やリピーターの増加を目指す。また、インスタグラムの活用など情報発信の仕組み作りの構築に向けた協議を行う。





# 香南市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略の取り組み

## ②新しい人の流れをつくる

### 【成果と課題】

●人口の社会増減は、平成28年度は社会減だったが、平成29年度以降は社会増となっている。(図6) 県外からの移住者は、年々増加しており、H30年度は29組50人が移住相談窓口を通して県外より移住を行った。引き続き、移住専門相談員の継続した配置と、相談から移住後のフォローまで、トータルで支援できる体制の充実を図っていく必要がある。(図7)

### 最終年に向けて

- 高知県等が主催する県外移住相談会への参加をはじめ、広域で連携した移住ツアーなど、移住者を呼び込む事業を実施していく。
- 他の分野(産業・子育て・観光など)との連携を図り、一層移住・定住の仕組みづくりを進める。

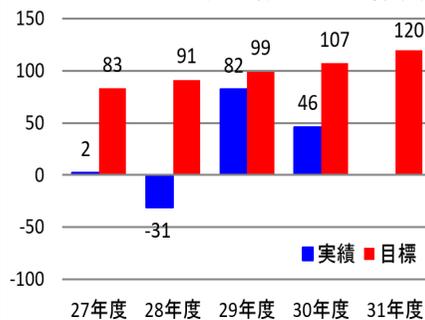


香南市の魅力を伝えたい!

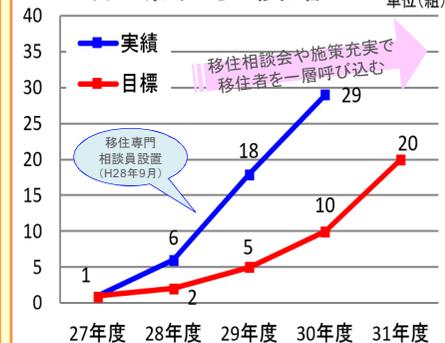


地域おこし協力隊(移住専門相談員)として活動中の中嶋理歩さん

＜図6＞人口の社会増減 単位(人)



＜図7＞県外からの移住者 単位(組)



## ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### 【成果と課題】

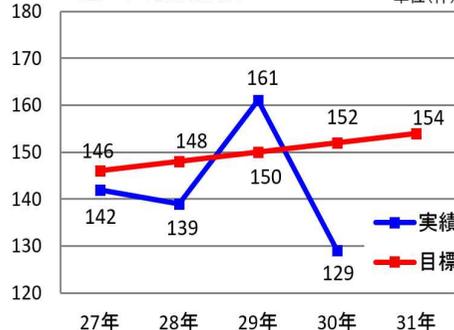
●婚姻件数は、H29年度は目標を上回ったが、翌H30年度は下回っており、近年で一番少ない実績であった。(図8) また、合計特殊出生率は、平成29年度は1.30と目標に届いてなかったが、H30年度は出生数も多く、1.58と目標を上回った。(出生数: H26年度245人、H27年(241人)、H28年度(241人)、H29年度(205人)、H30年度(240人))

### 最終年に向けて

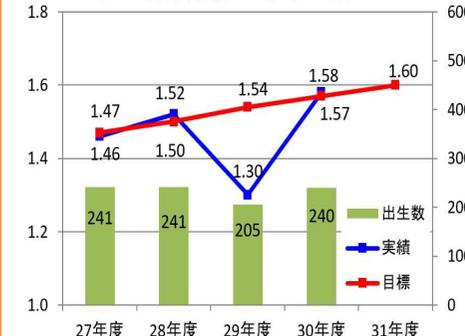
- 引き続き、人生支援計画を柱として、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策を展開する。それら施策の継続した取り組みから、婚姻件数および合計特殊出生率の向上を図り、人生をトータルでサポートしていく。



＜図8＞婚姻件数 単位(件)



＜図9＞合計特殊出生率・出生数 単位(%)



## ④時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしを守る

### 【成果と課題】

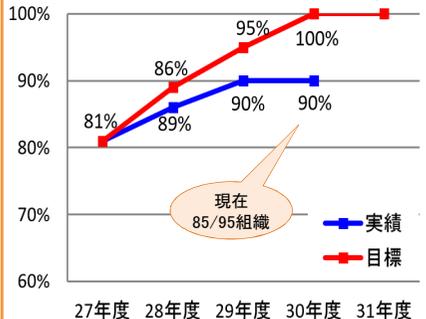
●協議会は10組織(53%)、自治会は合計85組織(90%)で現状維持であった。  
●自主防災組織については、H30年度1組織が新たに設立し、102組織(89%)となった。両方とも、目標数値には至っていない。

### 最終年に向けて

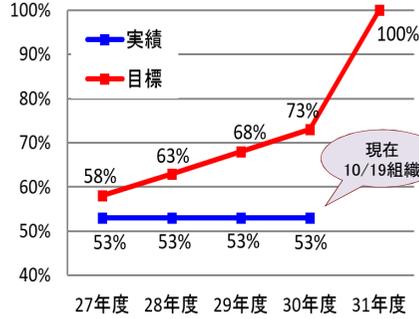
- まちづくり協議会や自治会、自主防災組織の組織化については、引き続き町内会等での住民説明会を積極的に実施し、組織化率100%を目指す。
- 既存のまちづくり協議会や自治会、自主防災組織については、活動が停滞することのないよう積極的に支援や助言等を行う。



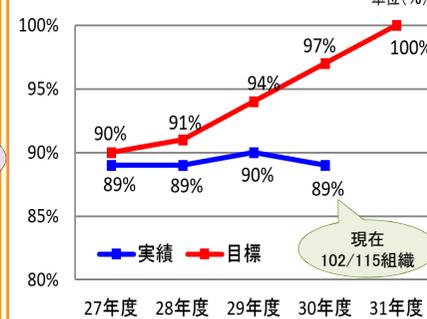
＜図10＞自治会結成率 単位(%)



＜図11＞協議会結成率 単位(%)



＜図12＞自主防災組織結成率 単位(%)



# 平成30年度 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み状況

## H30年度具体的施策

(赤字)地方創生推進交付金関連事業

### 【基本目標1】魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

#### 【足腰を強め、「地力」を高める】

- 農業の振興
  - 農業生産基盤の充実
  - 治水・利水整備の促進
  - 担い手対策の促進
  - 農産物ブランド化の推進と加工品の開発
  - 消費者の安全安心志向への対応
  - 中山間農地の保全と活用の促進
- 林業の振興
  - 森林の多面的な活用の促進
  - 森林の活用(木質バイオマス利用促進)
- 水産業の振興
  - 漁港の改修・整備等の推進
  - 漁業経営の基盤強化
  - 漁場の保全
  - 観光漁業の推進
  - 水産加工品流通販売の推進
- 農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化
  - 地産地消の推進
  - 加工・流通・販売などの体制を強化

- 空き店舗の活用
- 新規企業の育成支援
  - 6次産業化による新産業の創出
  - 魅力ある新商品の開発
- 観光のまちの育成
  - 観光・交流の拠点の場づくりと市民参加
  - 情報発信手段の効果的な活用
  - 地域に親しむ観光の促進
  - 活性化に向けたあらゆる産業との連携強化

#### 【分野を超えた産業間の連携を強化する】

- 6次産業化による地産地商の徹底
  - 地産地商の拠点(直売所)の機能拡充
  - 地域内での創意工夫によるコミュニケーションの支援
- 観光拠点形成とネットワーク構築
  - 資源の再発見(価値化・付加価値化)
  - 観光・交流の場づくり(地域住民参加)
  - 観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築
  - 物部川流域3市での観光振興
- 産業人材の育成・確保
  - 雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備

#### 【新たな産業づくりに挑戦する】

- 商工業の振興
  - 企業誘致の促進
  - 既存企業の育成・支援
  - 魅力ある商業地・商店街づくり

### 【基本目標2】新しい人の流れをつくる

#### 【移住・定住促進のためのしくみづくり】

- 「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信
- 若年層の交流・情報交換やイベント開催
- 産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援
- 移住促進

### 【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 【人生をトータルでサポートする体制づくり】

- ライフステージに応じた切れ目ない支援
- 若者の出会いの場づくり

#### 【子ども、子育て支援・環境の充実支援】

- 子育てを支える地域の育成
- 子育て施策の充実
- 多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充

### 【基本目標4】時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる

#### 【協働のまちづくり推進】

- 住民組織との情報交換
- 地域活動の支援体制強化

#### 【交流人口拡大】

- 集落活動センター(小さな拠点整備)
- 地域団体の活動促進、支援充実
- 歴史・食・体験等による交流人口の拡大

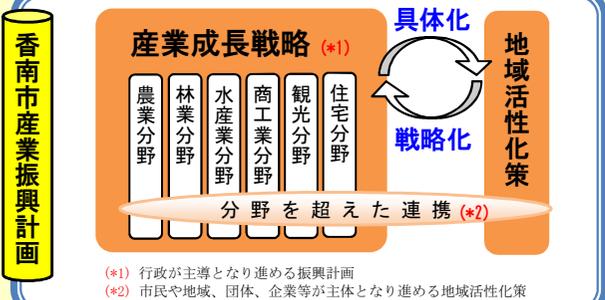
#### 【災害に強いまちづくり】

- 耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実
- 自主防災組織の設立・活性化
- 災害時における地域の支え合いづくり
- 消防・防災対策の強化

#### 【大学との連携】

- 大学との連携

## H30年度取り組み状況の概要



(\*) 行政が主導となり進める振興計画  
 (\*\*) 市民や地域、団体、企業等が主体となり進める地域活性化策

### 情報収集 ↔ 意見交換

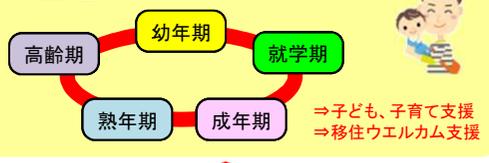
#### 産業振興計画推進分野別部会の開催 (H27.10.30設置)



(\*)3 計画の進捗状況の検証や評価、新たな取り組みなど、産業振興計画を着実に推進できる体制の整備  
 (\*\*)4 分野別部会の部会員と策定委員会の委員が一堂に会し、意見交換する合同会議

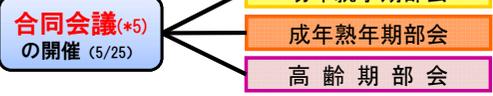
## 香南市人生支援計画

### 人生をトータルでサポート



#### 人生支援計画推進分野別部会の設置 (H30.5.25設置)

人生支援計画を着実に推進できる体制の強化として、人生の各世代(幼年就学期・成年熟年期・高齢期)ごとに部会を設置し、世代に応じた施策を検討。また、部会ごとにテーマを決め、テーマに沿った議論を進める。



(\*)5 分野別部会の部会員が一堂に会し、策定委員の決定、H29年度の取組の点検・検証、次年度の取組についての会議を開催

★人生支援計画や産業振興計画の施策との連携による、効果的な事業展開を企画する総合戦略企画会議を開催(7/13)

## R元年度の取り組みについて

★産業振興計画推進分野別部会による取り組みを継続  
 ・分野別の部会が機能しはじめたことにより、実質的な議論の展開が図られている。また、部会は当事者として意見を出し合い、策定委員会との連動を図っている。これら取り組みを継続して実施。  
 ・水産部会へ内水面漁業関係者を新たな委員として依頼。

★分野別部会の部会員および策定委員による合同会議を継続  
 ・平成29年度から合同会議を開催。他の分野の部会員と意見交換が行え、分野を超えたつながりを持つことができている。これら取り組みを継続して実施。

- ★新たな事業等への取り組み
- ＊農業次世代人材投資事業(拡充)
  - ＊森林環境譲与税の活用
  - ＊築いそ整備事業(種子島周辺漁業対策事業)
  - ＊空き店舗対策事業(拡充)
  - ＊未来人材育成奨学金返還助成支援(拡充)
  - ＊香南市情報サービス施設等設置促進事業
  - ＊自然体験型観光資源強化事業(ヤシパークランドデザイン)
  - ＊レンタカー会社と連携して誘客を促進
  - ＊3市の観光資源を生かした旅行商品の造成及び販売

産業振興と雇用の創出で人口増へ

★人生支援計画推進分野別部会による取り組みを継続  
 ・人生支援計画を着実に推進できる体制の強化として、人生の各世代(幼年就学期部会・成年熟年期部会・高齢期部会)ごとに部会を設置し、その部会ごとに世代に応じた施策の検討を行う。  
 ・部会ごとに、新たなテーマを決め、テーマ・内容ごとに議論する。

- ★新たな事業等への取り組み
- ＊空き家改修事業費等補助金(拡充)
  - ＊地方創生移住支援事業
  - ＊就学援助費(幼稚園給食費)
  - ＊不妊治療助成事業(拡充)
  - ＊LINEを活用した情報発信(市のHPとLINEの連携事業)
  - ＊医療機関送迎サービス事業(拡充)

人の流れをつくり、若い(すべての)世代の希望をかなえることで人口増へ

- ★新たな事業等への取り組み
- ＊ふらっと座談会
  - ＊住民主体の受け皿づくり事業
  - ＊集落の活力づくり支援事業

★れんげいこうち広域都市圏の取り組みを継続。高知市と連携して、香南市の活性化を一層図る。  
 ★総合戦略企画会議を継続して開催し、社会増実現のための施策や方向性について検討する。